



2021年6月 2020-2021 第8号

ワイズメンズクラブ国際協会 アジア太平洋地域ブリテン

主題: 変化をもたらそう スローガン: 奮い立たせよう



子どもたちのサマーキャンプと部族のユースキャンプへのランチの寄付 P3 参照



目次

地域会長からのメッセージ: 2

台湾区特集: 3-8

ミャンマーで4クラブの
チャーター: 9

YMIとYMCAの再生可能
エネルギーのパートナーシップ
締結: 10

RBM チャリティーゴルフトーナメント P7 参照

地域会長のメッセージ



親愛なるクラブ会員および友人の皆さまへ

6月は、2020-21年度の奉仕活動の最後の月です。また、地域と区のリーダーたちにとっては、スムーズなリーダーシップの移行のための準備を行う月でもあり、区大会の時期でもあります。

活躍した区を称えます。新型コロナウイルスにも関わらず、今年度は、多くの新しい取り組みが行われた、刺激的で出来事の多い年でした。私は、地域執行役員と地域事業主任 チームに対して、今年度の魅力的で充実した「変化をもたらそう」の活動において重要な役割を果たしたことに感謝します。私の後を継ぐのは、西日本区の大野勉次期地域会長です。彼を最大限にサポートしましょう。

2022年は、歴史的な瞬間です！ワイズメンズクラブ国際協会の100周年を祝うこととなります。理想主義(大きな夢を見ること)、関心(潜在能力を最大限に発揮すること)、主体性(新しいアイデアを開発し、共有すること)、勤勉(目標を達成するために一生懸命働くこと)の4つのIの約束を守りながら、私たちの地域は、3つの100周年プロジェクトに取り組んでいきます。

1. 作詞作曲コンテスト: 才能あるメンバーや仲間を募り、ソング・フェストを開催します。
2. 料理と伝統コンテスト: アジア太平洋地域のレシピブックを制作します。料理が好きな方、美味しいものが好きな方は、自分のレシピを投稿して、みんなで楽しみましょう。
3. 気候変動へのアクション: フィリピンのマカティ YMCA との唱道パートナーシップの新たなモデルです。

また、私たちのヒストリアンである元国際議員のラモナ・UJ・モラレスが地域歴史の編纂を完了したことを発表できることを嬉しく思います。この非常に困難な任務に精力的に取り組んでくれた彼女に感謝したいと思います。また、過去と現在の地域のリーダーたちが、ワイズメン、ワイズウィメンとしての経験に基づいた、元気づける刺激的な話を提供してくれました。歴史を振り返り、歴史から学ぶことは、15カ国以上からなる地域を、より優れたものにするための原動力となります。

最後になりましたが、地域大会が間近に迫っていることをお覚えください。台湾の状況が許せば、8月14日(土)にハイブリッド方式で開催される予定です。地域ユースコンボケーションは、その1週間前の8月7日と8日に開催されます。このイベントは、ユースと若い大人が一緒になって私たちの運動の未来を描く、エキサイティングな2日間のイベントです。この日を楽しみにして、登録してください。

不屈の精神を持つブリテン編集者のコリン・ランビー地域事業主任と、ネパールのディーパック・バンダリ次期部長、フィリピンのマグダ・ガーナクラブ会長、日本の利根川恵子地域書記、元国際議員でアドバイザーのラモナ・モラレスからなる彼のチームが通算8号分の発行を成功させるために尽力し、創造性を発揮してくれたことに感謝しましょう。

そして何よりも、成功した充実した1年を送ることができたのは、神様のお導きによるものだと感謝しています。

アジア太平洋地域の会長を務めることができ、光栄に思います。私たちは、ワイズメンの精神を心の中で燃やし続けましょう。

デビッド・ルア
地域会長(2020-21)



編集長からのメッセージ

今年度の地域ブリテンも最終号を迎えることになりました。この場をお借りして、この発行を実現してくれたチームの皆さんに感謝したいと思います。デザインとレイアウトを担当してくれたマグズとディーパック、そして配布を行ってくれた利根川地域書記、日本の読者のために翻訳を行ってくれた田中直前会長など、2020-2021 のブリテンチームの皆さん、ありがとうございました。また、発行について継続的に指導、助言をいただいたデビッド・ルア地域会長、元国際議員の M・インダイにも感謝いたします。最後になりましたが、読者の皆さまには、このブリテンをお読みいただき、アジアの仲間のワイズメンについて知っていただく時間を割いていただき、ありがとうございます。新年度、皆さまが祝福され、健康であることをお祈りいたします。

ブリテン編集長 コリン・ランビー

台湾区の概要

フランク・ツァイ理事

1955年3月12日に台湾で最初のワイズメンズクラブ(台北アルファ)が台北でチャーターされて以来、台湾区のすべてのメンバーは、ワイズ運動の推進と地域社会への奉仕に尽力してきました。人数はあまり増えていませんが、常に一定のメンバー数を維持しています。また、国際プログラムへの寄付も継続して行っており、全世界のIBCを支援するために最善を尽くしています。

2020/21期は、「輝かしいワイズの将来に参加しよう」を年間主題とし、新しい女性のクラブを1つ設立することと、より多くのCS活動を実施することを主な目標としました。



台湾区は、新型コロナウイルスのパンデミックの影響をほとんど受けておらず、様々な活動が通常通り行われています。各部やクラブでは、様々なCSプログラムや例会を開催しています。また、YMIや地域に協力してビデオ会議に参加する努力を行っています。2020年8月16日に台中エバーグレイスワイズウィメンズクラブがチャーターされ、10数回のCSプログラムを実施したことを大変誇りに思います。以下は、CSプログラムのご紹介です。

1. 水のペットボトル寄付活動 (北部 7月)



2. 台中YMCAのサポートのもと、子供たちのサマーキャンプと部族のユースキャンプへのランチ寄付 (中央部 7月)



3. 小学生オーケストラへの寄付 (全区 8月)



8. 台中 YMCA と協働のチャリティーバザー活動 (中央部 11 月)

9. 小学生のアフタースクールへの寄付 (中央部 11 月)



10. 障がい者に現金と品物を贈呈 (全区 12 月)



11. 冬の奉仕活動 (全区 11 月)

12. 高齢者に食事の配達 (中央部 3 月)

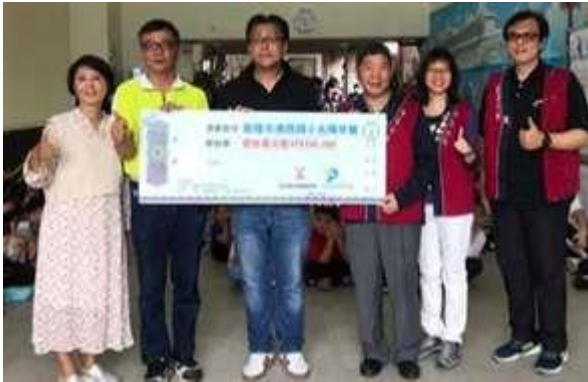


13. 礼儀キャンペーン（全区 11月）



14. 小学生の朝食のための寄付（北部 4月）

15. 毎年恒例の献血活動（全区）



私たちは、YMI の Week4Waste に参加しました。

1. 北部: 1つ目は、1月に桃園ティンファン保護区と協力して、毎年恒例の「寒い冬に暖かさをあげよう」を実施しました。約40人のワイズメネットとコメントが、食べ物や服などを提供するだけでなく、周辺の環境を清掃し、通りをきれいにしました。2つ目は、4月にワイズメネットの活動として、公園の清掃と一緒に医療関係の講座を開催しました。

2. 中央部: 3月に海浜地区のビニール袋、大型ゴミ、ガラス、危険な注射針などを拾い、一般ゴミ170.5kg、再利用可能物169.2kg、大型ゴミ16kg、合計355.7kgの海洋ゴミを回収し、きれいな自然景観を取り戻しました。



ユース部門では、これまでもコメントにワイズ活動への参加を奨励してきましたし、毎年必ずユースキャンプを開催しています。今年は、1月30日～31日に台中でユースキャンプを開催しました。



特に、RBM チャリティーゴルフトーナメントや区歌謡祭の開催などで、様々な国際プログラムへの献金が当初の目標額を上回りました。区事業主任、ワイズメンバー、ワイズメネットの皆さまのご協力とご尽力に感謝いたします。ワイズ運動が、より強くなり、台湾で永遠に続くことを願っています。



部別、クラブ別会員数統計（2021年4月）

North District :156		Center District :274		South District :94	
Club	Member	Club	Member	Club	Member
Taipei-Alpha	19	Taichung	18	Kaohsiung	19
Taipei-Beta	15	Taichung-Evergreen	26	Pingtung	10
Taipei-Downtown	21	Taichung Everspring	15	Pingtung-Southmountain	6
Taipei-Central	18	Tsaotun	32	Kaohsiung-The Port	21
Keelung	13	Taichung Ever Flow	41	Tainan	13
Taipei-Bridges	21	Taichung Ever Nice	34	Kaohsiung Forever Young	15
Taipei Union	15	Taichung Everlife	60	Pingtung-Wandan	10
Taipei-A-List	15	Taichung Great Vision	22		
Taoyuan	19	Taichung EverGrace	26		

Total: 25 Clubs, 524 members

応援する愛 – 台湾のワイズメネット 区ワイズメネット事業主任 カレン・ルー

ワイズメンズクラブ国際協会台湾区では、ワイズメンの配偶者は、ワイズメネットと呼ばれ、各ワイズメンズクラブの働きを補っています。ワイズメネットは、配偶者の必要性に応じて、無言でワイズメンを支援し、貢献し、サポートすることが多く、そのような一貫した「愛」のムードの中で、深い友情と強さの絆を蓄積していています。長年にわたり、台湾のワイズメネットは、国内外を問わず、ワイズメンの様々な事業に積極的に参加しており、その結果は、誰の目にも明らかです。ワイズメンズクラブメンバーの数が全体的に減少している中、確立されたワイズの組織構造の中で、いかにして可能な限りの独自性を引き出すことに注力するかが、最も重要な課題となっています。

エクステンション拡大の観点から

直前理事のトニー・リャオは、2019年の任期中に、ワイズメネットクラブを拡大するための3年計画を提案しました。つまり、各地のワイズメネットクラブが国際ワイズメネットに再登録することです。台湾区のIBC事業主任であるH・K・チェンの夫人であるフェンを芸術監督として招いて、台湾ワイズメネットのビジュアル・アイデンティティをデザインしました。この計画は、フランク・ツァイ理事、ケビン・スー次期理事、そしてすべての役員たちに強く支持されました。トニー・リャオは、12の各地のワイズメネットクラブに2019/2020期に登録を完了させました。フランク・ツァイは、2021年6月の任期満了までにすべての登録を完了する目標が達成されることに期待しています。

また、フランク・ツァイが理事に就任する前に、夫人のヘレン・ツァイが新クラブ設立の計画を始め、エクステンション計画をサポートするために具体的な行動を起こしました。ヘレンの努力により、2020年8月16日に台中エバーグレイスワイズウィメンズクラブが、合計22名のクラブメンバーで設立され、YMI台湾区のメンバー数は498名から520名に増えました。ヘレンの「応援愛」が伝わってくる結果となりました。



ワイズメネットのイメージ

台湾のワイズメネットのビジュアル・アイデンティティは「シルクのスカーフ」(右)です。このアイデアは、ワイズのモットーから来ており、フェンがデザインしました。このデザインの要素は、ワイズメネットのロゴをつなげて、キリストの愛の精神で十字架を作ることです。4つの紅冠鳥の方向は、地球と区の比喩です。四隅を結ぶ絡み合ったロープと結び目は、ワイズメネットの結束と持続性を象徴しています。配色デザインは、台湾の常緑樹と人々の親しみやすさをベースにしており、ユリの純粋な香りがどこまでも続きます。ワイズメネットは、ワイズメンが社会に愛と奉仕を伝えていくためのお手伝いをします。それは、決して終わりません。



フェンがデザインした絹のスカーフは、高品質の純シルクを使用しており、パッケージや完成品は、国際的に有名なブランド品に匹敵します。エレガントでありながら高価ではないので、プレゼントにも個人的な使用にも適しています。台湾区ワイズメネット委員会では、8月に開催される地域/区大会でのチャリティー販売のために、50枚を特別に確保しました。チャリティーセールスの収益は、2022年ファンドに算入されます。メネットによる愛の応援で、すべての区のワイズがますます強くなることを願っています。

愛情と思いやり

「ワイズメネットリリー・シェン福祉基金」は、2019年にチャーミング・シェン次期アジア太平洋地域会長が、2019年1月に病気で亡くなった最愛の妻を偲んで設立した基金です。この基金は、健康への意識を高め、メンバーによる医療援助や教育の促進などを目的として設立されました。2021年4月24日、チャーミング・シェンのワイズメネットへの配慮に応じて、北部のシン・チン・リン部長が、特別に北部のワイズメネットのイベントを開催し、キールン市マルチメディア視聴覚センターで視覚の健康をテーマにした医療講演が開催されました。

チャーミング・シェンは、「ワイズメネットリリー・シェン福祉基金」を代表して、イベントの費用、1万台湾ドルを支援しました。

北部のワイズメネットのイベントは、シーチン・リイ部長が主催し、タンミン・シャオ元地域会長が出席し、指導を行いました。アイシャ・ファン元理事からは、「美化」の重要性を強調する発言がありました。

国際的な活動への積極的な参加

YMIのWeek4Wasteに合わせて、2021年4月24日開催の北部ワイズメネットのイベントの直後に、キールン市のチョン・チェン公園で「道路清掃活動」を実施しました。ワイズメネットは、ワイズメンズクラブのメンバーと協力して、ゴミのない環境を維持しました！

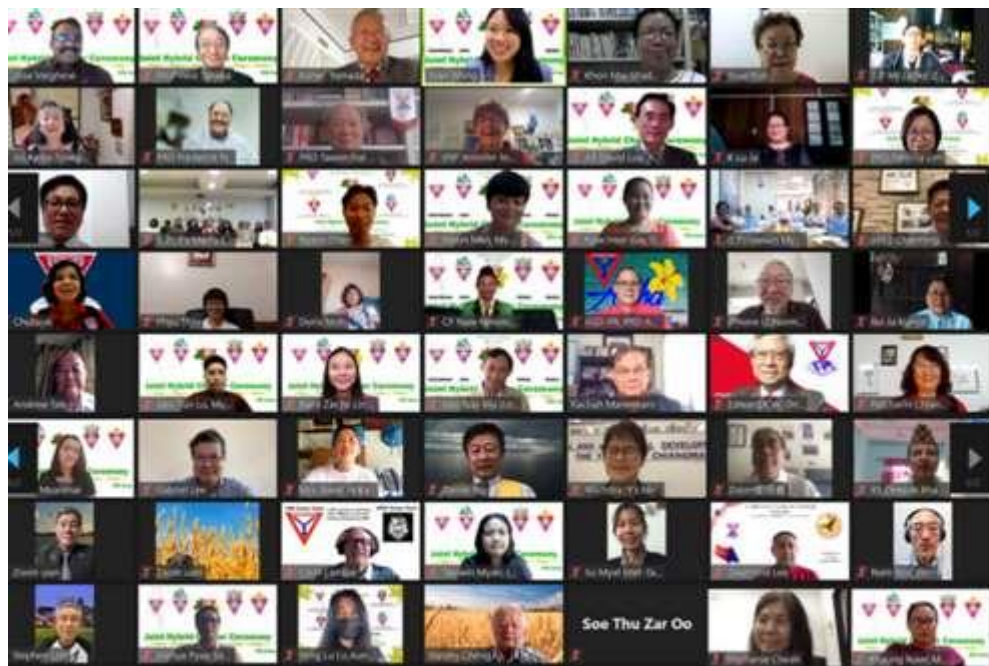
ミャンマーの4クラブがワイズファミリーの仲間になりました

南東アジア区理事 ジョーン・ウォン

混乱の中にも関わらず、2021年6月5日にミャンマーに4つの新しいクラブが無事にチャーターされました。同日、合同ハイブリッド・チャーター式典が開催されました。デビッド・ルア地域会長、ジョース・ヴァルギース国際書記長、マウン・マウン・ウィン ミャンマーYMCA 総主事が招待され、挨拶をしました。ジェニファー・ジョーンズ直前国際会長、田中博之直前地域会長、ナン・ブー・ウォン アジア・太平洋 YMCA 同盟総主事が全クラブに向けてお祝いのメッセージを述べました。また、ジョーン・ウォン理事とピーター・テイ部長は、それぞれ、チャータークラブ会長の就任式とクラブメンバーの入会式を行いました。その他、キム・サンチェ次期国際会長と大野勉次期地域会長は、出席できませんでしたが、それぞれ祝いの手紙とビデオを送ってくれました。また、ジェイコブ・クリステンセン国際会長からは、ミャンマーへの祈りのメッセージが、式典後にすべての新クラブに送られました。

4つの新ワイズメンズクラブ、すなわち、タウイン・ミャンマー、マンダレー、ロイコー、ミッチーナは、南東アジア区に合計70名の会員をもたらしました。南東アジア区からは、シンガポールのアルファ・チャプター、タイのチェンマイ、香港のアイランド・イースト、チムサーチョイ、ノースウェスト、ネパールのルンビニの様に、区内のクラブが国境を越えてスポンサーとなっています。スポンサークラブの会長であるダニエル・ウン、ウィチタラ・クヘンカイ、レオ・チュー、ガブリエリ・リー、ディーパック・バンダリとクラブ代表のトニー・チャンが式典に出席し、万国旗、ランチョンベル、ギャベルを4つの新クラブに贈呈しました。

2002年10月、ミャンマーにワイズメンズクラブを設立するために、南東アジア区では、ミャンマーエクステンション特別チームを結成されました。チームには、デビッド・ルア地域会長、EMC 地域事業主任のエドワード・オン元地域会長、山田公平 YL 地域事業主任、ジョーン・ウォン理事、ジェームズ・コング区エクステンション事業主任、ピーター・テイ部長、ラチャン・マニーカーン YL 区事業主任/次期部長、ディーパック・バンダリ区書記/次期部長が参加しました。全クラブとのミーティングが何度か行われ、2021年5月15日には、オリエンテーションが開催されました。しかし、当初のチャーター日である2月2日は、政治情勢の急変により延期されました。ミャンマーのYMCA 同盟がエクステンション活動に最大の努力を行ったことが、4つの新クラブのチャーター成功につながったのは間違いありません。



式典には、新入会員を含む90名以上の参加者が、会場で、あるいはズームで参加しました。(上)

4人のチャータークラブ会長が受諾スピーチを行いました。(右上)

ミャンマーYMCAの理事会メンバーとマウン・マウン・ウィン ミャンマー総主事(右下)

アジア太平洋地域とマカティ YMCA の再生可能エネルギーのパートナーシップ

コリン・ランビーブリテン編集長/グリーン活動地域事業主任およびマグダ・ガーナ マカティ YMCA エグゼクティブディレクター

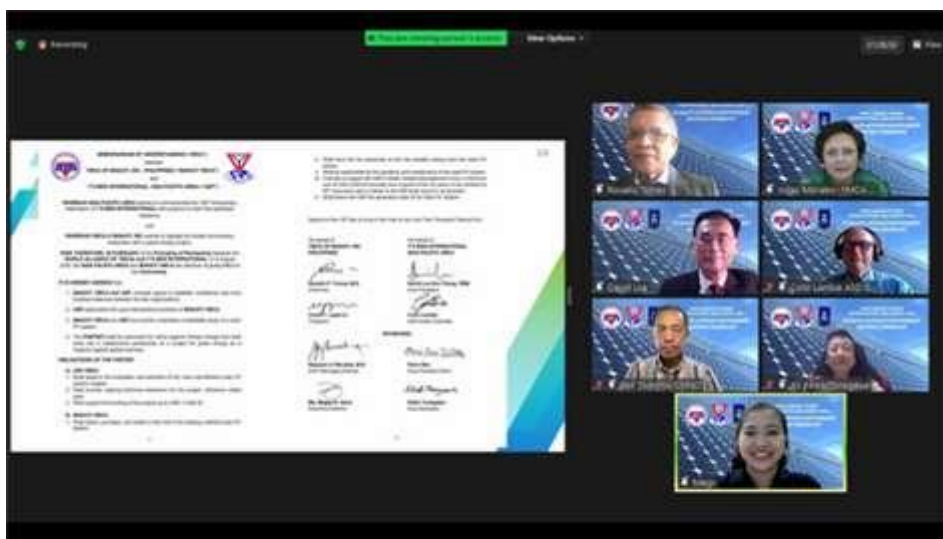
ワイズメンズクラブ国際協会アジア太平洋地域は、2021年6月19日、フィリピンのマカティ YMCA と、再生可能エネルギープロジェクトのための気候変動アクションのパートナーシップを締結しました。

アジア太平洋地域は、マカティ YMCA のビルに太陽光発電システムを設置するための資金を共同で提供し、エネルギー消費による二酸化炭素排出量の削減を目指します。反対に、マカティ YMCA は、今後5年間、環境に関するアジア太平洋地域のプロジェクトへの資金提供を支援します。

メッセージの中で、デビッド・ルア会長は、ワイズメンズクラブ国際協会の100周年を記念して、アジア太平洋地域がこのプロジェクトを支援することは意義深く、これは、ワイズメンズクラブ国際協会と YMCA のパートナーシップモデルとしては初めてのことでありと述べています。

ロザリオ・トレス マカティ YMCA 会長、このプロジェクトは、今年のマカティ YMCA の50周年を記念した旗艦プロジェクトの一つであると述べています。

歴史的なバーチャルな調印式には、国際およびアジア太平洋地域の、ワイズメンズクラブ国際協会および YMCA のリーダーたちが出席し、ワイズからは、ジェニファー・ジョーンズ直前国際会長、ジョース・ヴァルギース国際書記長、YMCA からは、ナン・ブー・ウォン アジア・太平洋 YMCA 同盟総主事などが出席しました。



左上から、ロザリオ・トレス マカティ YMCA 会長、ラモナ・モラレス同副会長、デビッド・ルア地域会長、コリン・ランビー グリーン活動地域事業主任、大野勉次期地域会長、利根川恵子地域書記、マグダ・ガーナ マカティ YMCA エグゼクティブディレクター



国際ニュース

2022年の国際大会は中止

YEEP プログラムは終了

IGo (Internships 4 Global Outreach) という新規プログラムを承認

詳細は、www.ysmen.org を参照

ブリテン編集チーム

編集長: コリン・ランビー

デザイナー:

ディーパック・バンドリ

マリア・マグダ・ガーナ

配布: 利根川恵子

アドバイザー:

デビッド・ルア

ラモナ・インダイ・モラレス

日本語版翻訳/編集: 田中博之

アジア太平洋地域ウェブサイト: <http://www.ysmenap.org/>

Facebook: <https://www.facebook.com/aspysmen>